



セグメント情報

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社及び連結子会社18社で構成され、銀行業務を中心に、リース業務等の金融サービスに係る事業を行っております。

従いまして、当社グループは、金融業におけるサービス別のセグメントから構成されており、「銀行業」、「リース業」の2つを報告セグメントとしております。

「銀行業」は、預金業務、貸出業務、有価証券投資業務、為替業務等を行っております。

なお、「銀行業」は、連結子会社の銀行業務、銀行事務代行業務、信用保証業務、クレジットカード業務、有価証券投資業務、投資ファンドの運営業務を集約しております。

「リース業」は、連結子会社のいよぎんリース株式会社において、リース業務等を行っております。

2 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部経常収益は、第三者間取引価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	中間連結財務諸表計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	90,473	8,171	98,645	1,117	99,762	—	99,762
セグメント間の内部経常収益	195	210	406	2,039	2,445	△2,445	—
計	90,669	8,381	99,051	3,156	102,208	△2,445	99,762
セグメント利益	36,898	362	37,260	149	37,410	△4	37,406
セグメント資産	8,752,378	54,722	8,807,100	512,671	9,319,771	△531,004	8,788,767
セグメント負債	7,998,438	32,237	8,030,676	8,032	8,038,708	△34,386	8,004,322
その他の項目							
減価償却費	3,100	15	3,116	19	3,135	△34	3,101
資金運用収益	65,064	84	65,149	2	65,152	△45	65,107
資金調達費用	23,619	50	23,669	0	23,670	△45	23,625
特別利益	32	—	32	—	32	—	32
(固定資産処分益)	(32)	—	(32)	—	(32)	—	(32)
特別損失	161	—	161	0	161	—	161
(固定資産処分損)	(158)	—	(158)	(0)	(158)	—	(158)
(減損損失)	(3)	—	(3)	—	(3)	—	(3)
税金費用	12,341	120	12,462	83	12,545	0	12,546
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	6,120	0	6,121	14	6,135	△38	6,096

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と中間連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、情報処理受託・ソフトウェア開発業及び証券業等であります。

3. 調整額は、次のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△4百万円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額△531,004百万円は、セグメント間取引消去であります。

(3) セグメント負債の調整額△34,386百万円は、セグメント間取引消去であります。

(4) 減価償却費の調整額△34百万円、資金運用収益の調整額△45百万円、資金調達費用の調整額△45百万円、税金費用の調整額0百万円、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△38百万円は、セグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

5. 2023年4月3日付で新規設立した株式会社いよぎんデジタルソリューションズは、「その他」に含めております。

金融再生法開示債権及びリスク管理債権

(単位：百万円)

	2023年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,184
危険債権	72,091
要管理債権	22,913
うち三月以上延滞債権	2,212
うち貸出条件緩和債権	20,701
小計A (貸出金等に占める割合)	98,190 (1.67%)
正常債権 (貸出金等に占める割合)	5,760,311 (98.32%)
合 計	5,858,501
Aの保全率(カバー率)	71.77%

- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権であります。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で破産更生債権及びこれらに準ずる債権に該当しないものであります。
3. 「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で破産更生債権及びこれらに準ずる債権並びに危険債権に該当しないものであります。
4. 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権並びに三月以上延滞債権に該当しないものであります。
5. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権、三月以上延滞債権並びに貸出条件緩和債権以外のものに区分される債権であります。



資本金及び株式の総数

	2023年9月30日現在
資本金	20,000百万円
発行済株式数	313,408千株
うち普通株式	313,408千株



大株主の状況

<2023年9月30日現在>

氏名又は名称	住 所	所有株式数	発行済株式総数(自己株式を除く)に対する所有株式数の割合
		千株	%
株式会社日本カストディ銀行	東京都中央区晴海1丁目8番12号	35,200	11.41
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	東京都港区浜松町2丁目11番3号	31,268	10.14
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6番6号	8,878	2.87
明治安田生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内2丁目1番1号	7,094	2.30
大王海運株式会社	愛媛県四国中央市三島紙屋町7番35号	6,000	1.94
住友林業株式会社	東京都千代田区大手町1丁目3番2号	5,911	1.91
住友生命保険相互会社	東京都中央区八重洲2丁目2番1号	5,415	1.75
いよぎんグループ従業員持株会	愛媛県松山市南堀端町1番地	4,776	1.54
株式会社伊予鉄グループ	愛媛県松山市湊町4丁目4番1号	4,613	1.49
損害保険ジャパン株式会社	東京都新宿区西新宿1丁目26番1号	4,293	1.39
計	—	113,451	36.79

- (注) 1. 株式会社日本カストディ銀行の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は35,200千株であります。なお、その内訳は、信託口29,201千株、退職給付信託口5,469千株、年金信託口136千株、年金特金口393千株であります。
2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は31,268千株であります。なお、その内訳は、信託口30,568千株、退職給付信託口700千株であります。